



ALLIANCEBERNSTEIN®

交付運用報告書

アライアンス・バーンスタイン

ユーロゾーン・エクイティ・ポートフォリオ

クラスAX受益証券

ルクセンブルグ籍オープン・エンド型契約型外国投資信託(ユーロ建)

作成対象期間 第19期(2016年9月1日~2017年8月31日)

第19期末	
1口当たり純資産価格 (クラスAX受益証券)	13.50ユーロ
純資産総額 (全クラス合計) (クラスAX受益証券)	451,432,811ユーロ 13,395,822ユーロ
第19期	
騰落率	+24.31%
1口当たり分配金額	該当事項なし

(注)端数調整方法の違いにより、月次報告書に記載の騰落率とは異なる場合があります。以下同じです。

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、アライアンス・バーンスタイン(以下「トラスト」といいます。)のポートフォリオの一つであるユーロゾーン・エクイティ・ポートフォリオ(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第19期の決算を行いました。

ファンドの投資目的は、ユーロ圏の企業の株式に投資することにより元本の長期的な成長を達成することです。ファンドは、当期につきましても、上記に沿った運用を行いました。ここに当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

書面での運用報告書(全体版)は受益者の皆様からのご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト(<http://www.alliancebernstein.co.jp/>)の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

代行協会員

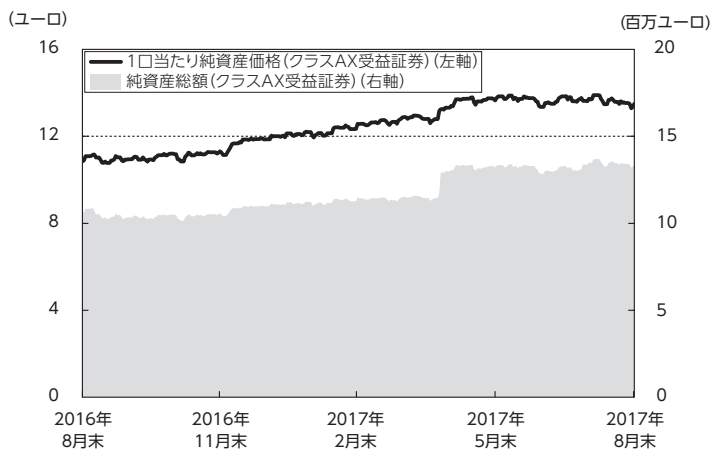
アライアンス・バーンスタイン株式会社

管理会社

アライアンス・バーンスタイン・ルクセンブルグ・エス・エイ・アール・エル

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



第18期末の1口当たり純資産価格：	
(クラスAX 受益証券)	10.86 ユーロ
第19期末の1口当たり純資産価格：	
(クラスAX 受益証券)	13.50 ユーロ
騰落率：	+24.31%

(注1) クラスAX受益証券については、分配方針に従い、分配金は支払われておりません。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件が異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。

■1口当たり純資産価格の主な変動要因

○上昇要因

金融セクターや資本財・サービス・セクターなどの保有銘柄の上昇

○下落要因

生活必需品セクターなどの保有銘柄の下落

費用の明細

項目	料率／金額 ^(注1)	役務の概要	
(a) 管理報酬	クラスAX受益証券の日々の純資産総額の平均額の年率1.50%	管理会社が一括受領し、その中から主に以下の関係法人に対し報酬が支払われます。	
		支払先	役務の内容
		投資顧問会社	ファンド資産の日々の投資運用業務
		販売会社	ファンドの受益証券の販売取扱業務
		代行協会員	クラスAX受益証券に関する代行協会員業務
(b) 管理会社報酬	クラスAX受益証券の日々の純資産総額の平均額の年率0.10%	ファンドの運営および中央管理業務の対価として、管理会社に支払われます。	
(c) 保管報酬、管理事務代行報酬および名義書換代行報酬	ルクセンブルグの通常の実務慣行に従い、資産を基準とする報酬と取引手数料の組合せとなっています。 管理事務代行報酬、保管報酬および名義書換代行報酬の年間の合計額は、通常、ファンドの純資産総額の最大1%です。保管報酬には、別途課されるコルレス銀行の費用、その他一定の税金、仲介手数料(適用ある場合)、借入利息は含まれていません。	ファンドの資産の保管業務、純資産価格の計算等の管理事務代行業務、ファンドの受益証券の登録・名義書換代行業務の対価として、保管受託銀行、管理事務代行会社および名義書換代理人にそれぞれ支払われます。	
(d) その他の費用(当期)	0.07% ^(注2) (管理会社による報酬および費用の自発的負担額を考慮していません。下記「受益者による報酬・費用の負担の上限率」をご参照ください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンドの資産および収益に課せられる一切の税金 ・ファンドの組入証券の取引に係る銀行手数料および仲介手数料等 ・監査報酬および弁護士報酬 ・書面、通知、会計記録、届出書、目論見書および報告書の作成、翻訳、印刷費等 	

(注1) 各報酬については、有価証券報告書に定められている料率または金額を記しています。

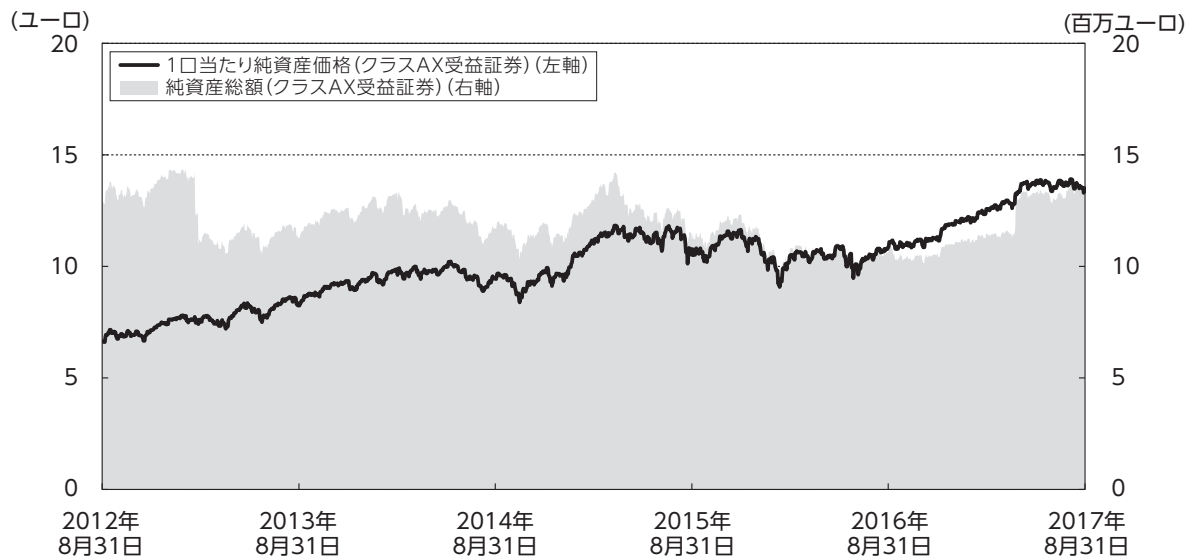
(注2) 「その他の費用(当期)」には、運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

受益者による報酬・費用の負担の上限率

クラスAX受益証券の受益者が一計算期間に負担する報酬および費用の総額は、クラスAX受益証券の平均純資産総額の1.90%を上限とし、その上限率を超える報酬および費用^(※)は管理会社が自発的に負担します。ただし、管理会社がかかる負担をしない場合には、その旨を事前に販売会社に対し通知します。

(※) 管理会社が負担する当該超過報酬および費用には、本項に記載する報酬および費用(ルクセンブルグ年次税を含む)が含まれますが、ルクセンブルグ年次税以外の税金、仲介手数料および借入利息は含まれません。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



	第14期末 2012年 8月31日	第15期末 2013年 8月31日	第16期末 2014年 8月31日	第17期末 2015年 8月31日	第18期末 2016年 8月31日	第19期末 2017年 8月31日
1口当たり純資産価格 (クラスAX受益証券)(円)	6.64	8.25	9.46	10.76	10.86	13.50
1口当たり純資産価格の騰落率 (クラスAX受益証券)(%)	—	+24.25%	+14.67%	+13.74%	+0.93%	+24.31%
純資産総額(千円)						
(全クラス合計)	22,522	24,355	37,574	71,463	121,286	451,433
(クラスAX受益証券)	12,863	11,272	11,700	11,490	10,668	13,396

(注1)クラスAX受益証券については、分配方針に従い、設定来、分配金は支払われておりません。

(注2)ファンドの購入価額により課税条件が異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3)ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されておりません。

投資環境について

2017年8月31日までの12ヵ月間におけるユーロ圏株式市場は上昇しました。

2016年11月にかけては、一進一退となりました。原油価格が上昇したことなどが好感される一方、ドイツ銀行の経営状態をめぐる懸念や、欧州中央銀行（ECB）による資産購入プログラム縮小への警戒心、米国大統領選挙をめぐる先行き不透明感、軟調な中国経済指標などが嫌気されました。しかし、その後は、長期金利が上昇し、利鞘の改善期待から銀行株が反発したことや、活発な企業の合併・買収活動、資源価格の上昇などを受けて堅調に推移しました。2017年4月には、中東や北朝鮮の地政学リスクやフランス大統領選挙への懸念を受けて軟調に推移する場面があったものの、フランス大統領選挙結果が予想どおりの結果となり、また地政学リスクも後退したことから上昇しました。5月上旬以降期末にかけては、ドイツ金利の上昇、ユーロ高の進行などを背景に緩やかに下落しました。

ポートフォリオについて

ファンドは割安と判断されたユーロ圏の企業の株式および株式関連証券等から成るポートフォリオに投資することにより、信託財産の長期的な成長を目指します。運用にあたっては、当期も引き続きファンダメンタル分析と定量分析、二つの観点を融合し魅力度の高い銘柄を選定しました。

その結果、セクター配分においては、金融セクター、一般消費財・サービス・セクター、資本財・サービス・セクターなどが上位となりました。国別配分においては、フランス、ドイツ、オランダなどが上位となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。6頁「参考情報」のグラフは、純資産価格と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について

ファンドは、分配方針に従い、クラスAX受益証券については原則的に分配を行いません。従って、設定来、分配金は支払われておりません。

《今後の運用方針》

ファンドは、今後も投資方針に従って運用を行って参ります。

《お知らせ》

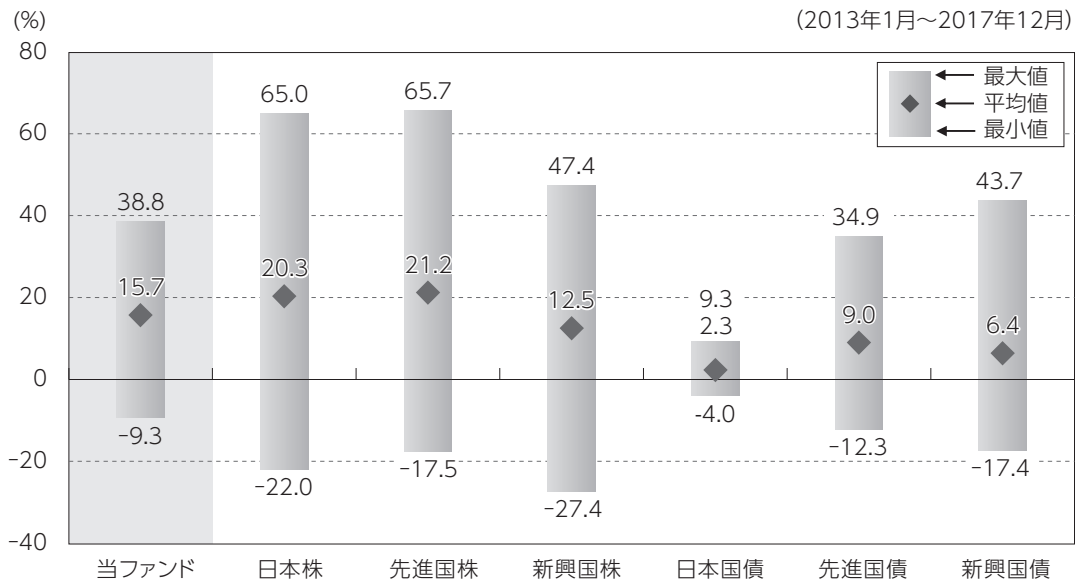
該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	ルクセンブルグ籍オープン・エンド型契約型外国投資信託(ユーロ建)
信託期間	ファンドの存続期間は無期限です。ただし、管理会社の決定により、ファンドを解散することができます。
運用方針	ファンドの投資目的は、主にユーロ圏の企業の株式および株式関連証券に投資することにより元本の長期的な成長を達成することです。
主要投資対象	ユーロを法定通貨としているEU加盟国(「ユーロ圏」)の国に拠点を置く企業またはユーロ圏でその事業活動の大部分を展開している企業の株式および株式関連証券に投資します。投資顧問会社は、常に、少なくともファンドの総資産の80%をユーロ圏の企業の株式および株式関連証券に投資する予定であり、いかなる場合においてもユーロ圏の企業の株式および株式関連証券への投資額はファンドの総資産の3分の2を下回ることはありません。
ファンドの運用方法	ファンドは、主として、魅力的なリターンが見込めると投資顧問会社が判断した企業の株式および株式関連証券で構成されます。ポジションの規模は、企業のリターン目標の達成能力に関する投資顧問会社の確信とダウンサイドリスク評価の組み合わせに基づきます。ファンドが投資する企業の規模もしくは株式時価総額に制限はなく、業種および国の選定もその時々で変化します。また投資顧問会社は、リスクとリターンの効率的なバランスが保たれるポートフォリオの構築を確保しつつも、ファンドのために各ユーロ圏企業の株式をどの程度購入するかは、ポートフォリオの特徴を総合的に検討して決定します。
分配方針	管理会社は、現在、クラスAX受益証券に関して分配を行わない方針です。従って、クラスAX受益証券に帰属する純収益および純実現利益は、受益証券の純資産価格に反映されます。

《参考情報》

■ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



● 上記グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2013年1月から2017年12月の5年間の各月末における直近1年間のファンドと代表的な資産クラスの年間騰落率*の平均・最大値・最小値を表示したものです。

* ファンドの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前におけるクラスAX受益証券の1口当たり純資産価格を対比して算出しております。代表的な資産クラスの年間騰落率(各月末時点)は、各月末とその1年前における下記の指数の値を対比して算出しております。

● 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

● クラスAX受益証券の年間騰落率は、その表示通貨であるユーロ建てで計算されており、円貨に為替換算されておりません。したがって、円貨に換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。

上記の参考情報は、あくまで過去の実績であり、将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

***代表的な資産クラスの指数およびその著作権等について**

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、円貨に為替換算しております。

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. MorganSecurities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

《ファンドデータ》

組入資産の内容(第19期末)

●組入普通株式上位10銘柄

(組入銘柄数:51銘柄)

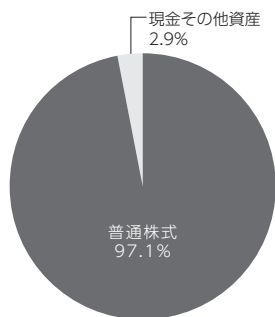
	銘柄名	国	業種	組入比率(%)
1	Sanofi	フランス	ヘルスケア	5.2
2	ING Groep NV	オランダ	金融	3.5
3	Airbus SE	フランス	資本財・サービス	3.3
4	Repsol SA	スペイン	エネルギー	3.0
5	EDP - Energias de Portugal SA	ポルトガル	公益事業	3.0
6	Henkel AG & Co. KGaA	ドイツ	生活必需品	2.8
7	KBC Group NV	ベルギー	金融	2.6
8	Allianz SE (REG)	ドイツ	金融	2.5
9	HUGO BOSS AG	ドイツ	一般消費財・サービス	2.5
10	Pernod Ricard SA	フランス	生活必需品	2.4

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

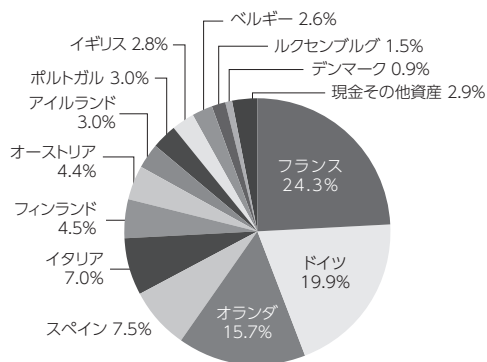
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注3) 国につきましては、発行国を表示しております。

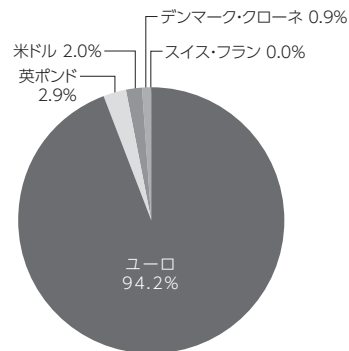
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 比率は四捨五入してあります。従って、合計の数字が一致しない場合があります。

(注3) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項 目	第19期末
純資産総額(全クラス合計)	451,432,811ユーロ
純資産総額(クラスAX受益証券)	13,395,822ユーロ
受益証券発行済口数 (クラスAX受益証券)	992,452口
1口当たり純資産価格 (クラスAX受益証券)	13.50ユーロ

第19期(クラスAX受益証券)				
受益証券 販売口数	乗換口数 (+)	受益証券 買戻口数	乗換口数 (-)	受益証券 発行済口数
166,259 (0)	0 (-)	153,294 (35,149)	3,191 (-)	992,452 (104,099)

(注) ()の数は日本国内における販売・買戻しおよび発行済の受益証券口数です。

